

循環器内科のご案内



当院に循環器内科 常勤医師が赴任し1年が経ちました。
当初は色々ご迷惑をお掛けすることもありましたが、周辺医療機関さまからのご紹介もあり、様々な症例の患者さまの診察および治療が可能となりました。
今回は、当院の「**循環器内科**」の現状をお伝えいたします！



診察が可能な症状は??

OK

対応可能

胸痛、胸部圧迫感、胸部絞扼感、胸部不快感
背部痛、動悸、息切れ、下肢浮腫、心電図異常
間欠性跛行、ABI低下、下肢潰瘍、下肢壊疽

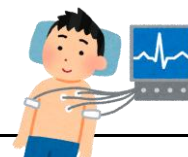
- ・循環器疾患一般
- ・急性心不全、慢性心不全
- ・虚血性心疾患：狭心症、心筋梗塞
- ・不整脈疾患：心室頻拍、心房細動、頻脈、徐脈、発作性頻拍、洞不全症候群

対応困難

NG

- ・夜間休日の緊急症例

※いずれ対応できるようにします



胸痛、動悸、息切れなどの症状がある方、無症状であっても高血圧/糖尿病/脂質異常症などの動脈硬化リスクをお持ちの方には積極的に冠動脈CTを施行し、虚血性心疾患のスクリーニングを行っております。

心不全をはじめ、狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患、心房細動などの不整脈疾患、肺塞栓症、深部静脈血栓症などの静脈血栓症、間欠性跛行や下肢難治性潰瘍、壊疽の原因となる閉塞性動脈硬化症に対して積極的に治療を行っております。

慢性心不全患者で心機能低下例、腎不全合併例、体液コントロールにアゾセミド【ダイアート】60mgor フロセミド【ラシックス】40mg以上を必要とする症例、心不全増悪を繰り返している症例ではトルバプタン【サムスカ】の長期投与により、心不全増悪による再入院が抑制できる可能性があります。このような症例がありましたら、導入目的の短期入院も検討させていただきます。



緊急での対応は??



現時点では平日の日中のみとなりますが、循環器緊急症例（急性心筋梗塞、不安定狭心症、大動脈解離、重症心不全、致死性不整脈など）のトリアージも行い、一部の重症例を除いて当院で対応させていただきます。当院で対応困難な症例は適切な病院へすみやかに転院いただく場合もありますが、まずは当方に御相談いただければしっかりと対応させていただきます。



心臓カテーテル検査・治療は行ってるの??



当院では、2020年7月から心臓カテーテル検査がスタートし、10月からは心臓カテーテル治療（ステント治療）も可能となりました。

2021年3月時点での検査件数は110件、治療件数は40件と大きなトラブルなく順調に症例数を増やしています。



循環器内科 医長

まきた なおき

蒔田 直記



○担当医からのメッセージ○

胸痛、動悸、息切れ、下肢浮腫、心電図異常、間欠性跛行、ABI低下、下肢潰瘍、下肢壊疽などの症状をお持ちの患者様、高血圧/糖尿病/脂質異常症/喫煙歴/家族歴のうち2つ以上の動脈硬化リスクファクターをお持ちの患者様、狭心症や心筋梗塞の既往のある患者様の慢性期心精査など、些細なことでも迅速に対応させていただきますので、遠慮なく御紹介ください。

